



## 2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月11日

上場会社名 堺商事株式会社  
 コード番号 9967 URL <https://www.sakaitrading.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤水 宏次

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 川原 章

TEL 06-7166-6180

定時株主総会開催予定日 2021年6月22日

配当支払開始予定日

2021年6月2日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月23日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	36,950	3.9	858	32.5	868	43.0	520	31.4
2020年3月期	38,467	2.7	648	2.5	607	8.2	395	0.9

(注) 包括利益 2021年3月期 638百万円 (52.8%) 2020年3月期 417百万円 (10.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	286.90		6.6	4.9	2.3
2020年3月期	218.38		5.3	3.4	1.7

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	18,468	8,509	43.6	4,442.75
2020年3月期	17,311	7,962	43.9	4,190.16

(参考) 自己資本 2021年3月期 8,054百万円 2020年3月期 7,597百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	403	161	188	1,981
2020年3月期	679	30	246	2,775

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		25.00		25.00	50.00	90	22.9	1.2
2021年3月期		25.00		35.00	60.00	108	20.9	1.4
2022年3月期(予想)		30.00		30.00	60.00		32.0	

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,000		350		340		170		93.76
通期	10,000		700		670		340		187.53

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

## 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期	1,813,090 株	2020年3月期	2,000,000 株
2021年3月期	36 株	2020年3月期	186,910 株
2021年3月期	1,813,090 株	2020年3月期	1,813,137 株

期末自己株式数

期中平均株式数

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P4「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行の影響を受けて、社会経済活動が大きく制限された結果、緊急事態宣言の発出、経済活動の停滞や個人消費の低迷が続く厳しい状況となりました。景気の動向については、各種政策の効果や米国経済見通しの改善もあって今後持ち直していくことが期待されるものの、再度の緊急事態宣言が発出される等、感染再拡大による更なる減速リスク等も懸念され、先行きは極めて不透明な状況となっております。

当連結会計年度の当社グループの経営成績は、以下の通りであります。

当連結会計年度(2021年3月期)経営成績 前連結会計年度比較 (単位:百万円)

	当連結会計年度	前連結会計年度	対前年増減額	対前年増減比
売上高	36,950	38,467	△1,516	△3.9%
営業利益	858	648	210	32.5%
経常利益	868	607	261	43.0%
親会社株主に 帰属する当期純利益	520	395	124	31.4%

当連結会計年度(2021年3月期)経営成績 四半期推移 (単位:百万円)

(会計期間)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	9,009	8,958	9,405	9,577
(対前年同四半期増減額)	(△1,617)	(△702)	(△210)	(1,014)
営業利益	193	224	204	235
(対前年同四半期増減額)	(37)	(33)	(1)	(138)

当社グループの業績は、当連結会計年度の売上高は上記の通り、前連結会計年度に比べ3.9%減の36,950百万円となりました。四半期単位の売上高については、上記推移の通り、前連結会計年度が前半好調後半失速型の業績であったことに対して、当連結会計年度の第1・2四半期の売上高は衛生・産業材料は不織布の活況等を中心に伸張しましたが、最初の緊急事態宣言等の影響を受けた市場の動揺と需要家の停滞感を反映し、環境・機能材料及び電子材料は大幅に落ち込みました。第3四半期には、リモートワークの拡大や5G(第5世代移動通信システム)関連の立ち上げを背景に電子材料は前年度並みに復調しましたが、環境・機能材料は若干の改善は見られたものの依然として低調に推移いたしました。第4四半期は、比較対象の前年度同期間が落ち込んでいたことが増加の主要因ではありますが、いずれの事業でも同期間を大きく上回っており、環境・機能材料についても持ち直しの傾向が見られました。しかし、当社グループ全体での通期の連結売上高は前半における伸び悩みを取り戻すまでには至りませんでした。

利益面においては、当連結会計年度の営業利益は前連結会計年度に比べ32.5%増の858百万円となりました。売上が伸び悩み状況下でありながら営業利益が大幅な増益になった要因としては、取扱商材が収益性の高い販売構成に推移したことによって売上総利益が減益とならなかったこと、インドネシア製造子会社が衛生・産業材料の活況を背景に一年間を通じて業績に貢献したこと及びコロナ禍の影響による営業活動の制限によって旅費交通費等の営業費用が前連結会計年度より大幅に減少したこと等が挙げられます。当連結会計年度の経常利益は前連結会計年度に比べ43.0%増の868百万円となりました。この主な要因は、営業利益が増加したことに加えて、年度末為替レートが円安に振れたことによる為替差益が発生し、前連結会計年度に比べて営業外収支が好転したこととあります。また、当連結会計年度の親会社株主に帰属する当期純利益は税金等調整前当期純利益の増加と非支配株主に帰属する当期純利益の増加の差引の結果として、前連結会計年度に比べ31.4%増の520百万円となりました。

主な事業の内訳は、次の通りであります。

なお、第1四半期連結会計期間から、各事業の対象区分を一部変更しております。これに伴い、前年同期比較は前年同期の数値を変更後の区分方法により組み替えて比較しております。

## ・電子材料

電子材料については、当連結会計年度の前半こそコロナ禍の影響により業績が伸び悩みましたが、第3四半期連結会計期間より通信機器及び電子機器向けの部材等が復調したことから、当連結会計年度の売上高は前連結会計年度に比べ4.9%増の10,239百万円となりました。

- ・環境・機能材料

環境・機能材料については、国内向けバリウム中間体や鉱石類、合成樹脂等の主力商材がいずれも当連結会計年度を通じて伸び悩んだこと等により、当連結会計年度の売上高は前連結会計年度に比べ15.2%減の16,514百万円となりました。

- ・衛生・産業材料

衛生・産業材料については、耐候性土嚢等の産業材料が伸び悩みましたが、不織布や衛生材料用フィルム等が好調に推移した結果、当連結会計年度の売上高は前連結会計年度に比べ10.4%増の10,197百万円となりました。

また、各セグメントの業績は、次の通りであります。

- ・国内法人

セグメントの「国内法人」には日本国内法人の国内売上と海外売上が計上されており、同海外売上には、アジア・北米・中東等への売が含まれております。当連結会計年度については、衛生・産業材料や電子材料は堅調に推移しましたが、バリウム中間体や鉱石類が伸び悩んだため、売上高は5.9%減の32,754百万円となりました。しかし、営業利益については、売上総利益率の向上や営業費用の減少により11.7%増の500百万円となりました。

- ・在外法人

セグメントの「在外法人」には在外現地法人の売上が計上されており、同売上には、アジア・北米・オセアニアへの売が含まれております。当連結会計年度については、北米における事業がコロナ禍の影響により減少しましたが、衛生・産業材料の需要の増加によって、インドネシアやタイにおける事業が好調に推移したことにより、売上高は14.4%増の4,196百万円となりました。また、営業利益についても、インドネシア製造子会社の製販増加によって売上総利益が伸張したことにより97.1%増の364百万円となりました。

なお、SAKAI TRADING EUROPE GmbHにつきましては、2018年9月28日に解散決議し、ドイツ法上の規程に則り、当連結会計年度において清算終了いたしました。従って、当社グループの連結の範囲から除外しております。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、当第4四半期連結会計期間の売上高の増により営業債権が増加したことを主要因として、前連結会計年度末に比べ1,157百万円増の18,468百万円となりました。

当連結会計年度末の負債は、当第4四半期連結会計期間の買入高の増により営業債務が増加したことを主要因として、前連結会計年度末に比べ609百万円増の9,958百万円となりました。

当連結会計年度末の純資産は、その他の包括利益累計額が株価の変動等により増加したことに加え、当期純利益の積み上がりにより、前連結会計年度末に比べ547百万円増の8,509百万円となりました。また、純資産のうち当社株主に帰属する持分合計は8,054百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.3ポイント減の43.6%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度の当社グループのキャッシュ・フローの状況は、営業活動によるキャッシュ・フローは403百万円の支出、投資活動によるキャッシュ・フローは161百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは188百万円の支出となりました。これに現金及び現金同等物に係る換算差額を調整した結果、当連結会計年度末の現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末に比べ793百万円減の1,981百万円となりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業キャッシュ・フローは前連結会計年度に比べ1,083百万円の支出増の403百万円の支出となりました。この要因として、当第4四半期連結会計期間の売上高及び仕入高の増により営業債権及び営業債務がそれぞれ増加しましたが、このことにより、前連結会計年度に比べキャッシュベースでの営業支出の増加が同営業収入を上回ったことが挙げられます。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の投資キャッシュ・フローは前連結会計年度に比べ130百万円の支出増の161百万円の支出となりました。この要因として、前連結会計年度の固定資産等の取得支出が10百万円であったのに比べ当連結会計年度の固定資産等の取得支出が146百万円と増加したことが挙げられます。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の財務キャッシュ・フローは前連結会計年度に比べ57百万円の支出減の188百万円の支出となりました。この要因として、長短借入金の増減が前連結会計年度は146百万円の返済超過であったのに対して当連結会計年度は97百万円の返済超過と減少したことが挙げられます。

## (4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、緊急事態宣言の再発出等新型コロナウイルス感染症の影響は継続しており、経済活動の停滞や事態の長期化から世界経済の更なる悪化も見込まれる、先行き不透明な状況にあります。

このような状況の下、当社グループは2019年3月20日に2020年3月期から2024年3月期を対象とする中期経営計画を公表し、

- ① 世界市場に広く展開し持続的に発展するグローバル企業を目指す
- ② 社員が働き甲斐を感じ安心して働ける職場環境づくりを推進する
- ③ 取引先様から信頼を集める化学品商社となる

の3点をビジョンとして掲げ、その実現に向けて様々な施策に取り組んでおります。

2021年3月期連結業績については、衛生・産業材料の想定以上の好業績や緊急避難的な営業費用の減少による特殊な状況下のものと考えており、連結業績予想については、化学品業界の需要回復の進捗が想定よりも遅れていることやコロナ禍の影響が引き続き懸念されます。これらにより、翌連結会計年度の売上高は10,000百万円、営業利益は700百万円、経常利益は670百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は340百万円を見込んでおります。

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準を適用した後の金額となっております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、当面は日本基準に基づいて財務諸表を作成する方針であります。なお、国際会計基準(IFRS)の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の諸情勢及び国内企業の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、検討を進め対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,014,803	2,211,555
受取手形及び売掛金	8,247,117	8,522,477
電子記録債権	1,592,501	2,693,720
商品及び製品	1,807,557	2,055,541
仕掛品	12,390	5,572
原材料	111,689	121,861
その他	172,333	477,244
貸倒引当金	△11,200	△13,369
流動資産合計	14,947,193	16,074,603
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	521,594	501,892
減価償却累計額	△211,927	△227,372
建物及び構築物 (純額)	309,666	274,519
機械装置及び運搬具	1,585,963	1,506,714
減価償却累計額	△522,651	△588,598
機械装置及び運搬具 (純額)	1,063,312	918,116
工具、器具及び備品	201,998	193,917
減価償却累計額	△132,475	△138,248
工具、器具及び備品 (純額)	69,523	55,669
土地	277,624	266,209
建設仮勘定	2,574	131,339
有形固定資産合計	1,722,700	1,645,854
無形固定資産		
ソフトウェア	93,424	53,231
無形固定資産合計	93,424	53,231
投資その他の資産		
投資有価証券	391,517	516,223
退職給付に係る資産	6,915	26,137
繰延税金資産	39,762	12,649
その他	139,005	168,784
貸倒引当金	△29,169	△29,082
投資その他の資産合計	548,032	694,711
固定資産合計	2,364,157	2,393,797
資産合計	17,311,351	18,468,401

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,686,338	7,033,099
電子記録債務	396,416	443,480
短期借入金	1,706,268	1,605,450
未払法人税等	74,222	130,963
賞与引当金	84,495	99,910
役員賞与引当金	17,000	19,900
その他	275,431	464,544
流動負債合計	9,240,173	9,797,349
固定負債		
繰延税金負債	37,262	77,270
退職給付に係る負債	19,742	25,387
その他	52,050	58,718
固定負債合計	109,056	161,375
負債合計	9,349,229	9,958,725
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	820,000	820,000
資本剰余金	697,471	697,400
利益剰余金	5,989,192	6,229,311
自己株式	△189,481	△79
株主資本合計	7,317,182	7,746,632
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	116,895	199,320
繰延ヘッジ損益	6,194	13,164
為替換算調整勘定	156,870	95,822
その他の包括利益累計額合計	279,960	308,306
非支配株主持分	364,978	454,736
純資産合計	7,962,121	8,509,675
負債純資産合計	17,311,351	18,468,401

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
 (連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	38,467,148	36,950,573
売上原価	35,695,723	34,130,877
売上総利益	2,771,424	2,819,696
販売費及び一般管理費	2,123,387	1,960,752
営業利益	648,037	858,943
営業外収益		
受取利息	9,901	11,085
受取配当金	11,432	11,864
為替差益	-	19,180
その他	5,468	1,647
営業外収益合計	26,803	43,778
営業外費用		
支払利息	17,851	11,306
支払保証料	5,901	7,179
売上割引	12,247	13,379
為替差損	30,758	-
その他	1,051	2,690
営業外費用合計	67,811	34,556
経常利益	607,029	868,164
特別損失		
関係会社整理損	-	4,541
ゴルフ会員権評価損	-	1,900
減損損失	18,092	-
特別損失合計	18,092	6,441
税金等調整前当期純利益	588,937	861,723
法人税、住民税及び事業税	167,790	198,218
法人税等調整額	△28,257	29,629
法人税等合計	139,533	227,848
当期純利益	449,403	633,875
非支配株主に帰属する当期純利益	53,446	113,691
親会社株主に帰属する当期純利益	395,956	520,183

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	449,403	633,875
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46,439	82,425
繰延ヘッジ損益	6,201	6,969
為替換算調整勘定	8,648	△84,982
その他の包括利益合計	△31,589	4,412
包括利益	417,814	638,287
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	368,391	548,529
非支配株主に係る包括利益	49,422	89,757

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	820,000	697,471	5,692,959	△189,378	7,021,052
当期変動額					
剰余金の配当			△99,723		△99,723
親会社株主に帰属する当期純利益			395,956		395,956
自己株式の取得				△103	△103
自己株式の消却					-
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	-	-	296,233	△103	296,129
当期末残高	820,000	697,471	5,989,192	△189,481	7,317,182

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	163,334	△6	144,198	307,526	315,555	7,644,134
当期変動額						
剰余金の配当						△99,723
親会社株主に帰属する当期純利益						395,956
自己株式の取得						△103
自己株式の消却						-
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△46,439	6,201	12,672	△27,565	49,422	21,857
当期変動額合計	△46,439	6,201	12,672	△27,565	49,422	317,987
当期末残高	116,895	6,194	156,870	279,960	364,978	7,962,121

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	820,000	697,471	5,989,192	△189,481	7,317,182
当期変動額					
剰余金の配当			△90,654		△90,654
親会社株主に帰属する当期純利益			520,183		520,183
自己株式の取得				△79	△79
自己株式の消却		△71	△189,410	189,481	-
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	-	△71	240,119	189,402	429,450
当期末残高	820,000	697,400	6,229,311	△79	7,746,632

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	116,895	6,194	156,870	279,960	364,978	7,962,121
当期変動額						
剰余金の配当						△90,654
親会社株主に帰属する当期純利益						520,183
自己株式の取得						△79
自己株式の消却						-
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	82,425	6,969	△61,048	28,345	89,757	118,103
当期変動額合計	82,425	6,969	△61,048	28,345	89,757	547,553
当期末残高	199,320	13,164	95,822	308,306	454,736	8,509,675

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	588,937	861,723
減価償却費	187,459	181,672
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△811	2,072
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,927	15,474
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△850	2,900
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	19,945	△19,221
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,353	6,953
受取利息及び受取配当金	△21,334	△22,950
支払利息	17,851	11,306
為替差損益 (△は益)	10,866	73,197
有形固定資産売却損益 (△は益)	914	△34
有形固定資産廃棄損	436	550
ゴルフ会員権評価損	-	1,900
関係会社整理損	-	4,541
減損損失	18,092	-
売上債権の増減額 (△は増加)	1,014,322	△1,221,383
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△29,479	△268,704
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	2,249	△72,436
仕入債務の増減額 (△は減少)	△795,307	153,509
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△86,602	△22,791
その他	4,342	45,849
小計	930,458	△265,871
利息及び配当金の受取額	21,725	23,679
利息の支払額	△17,851	△11,306
法人税等の支払額	△254,988	△150,175
営業活動によるキャッシュ・フロー	679,344	△403,673
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△3,487	△2,782
有形固定資産の取得による支出	△10,777	△146,566
有形固定資産の売却による収入	85	34
無形固定資産の取得による支出	△6,903	△2,471
投資有価証券の取得による支出	△10,405	△10,921
投資有価証券の売却による収入	-	2,000
その他	503	△723
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,984	△161,430
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△29,272	16,567
長期借入金の返済による支出	△116,839	△114,450
配当金の支払額	△100,216	△90,627
自己株式の取得による支出	△103	△79
財務活動によるキャッシュ・フロー	△246,431	△188,589
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,282	△39,810
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	397,646	△793,504
現金及び現金同等物の期首残高	2,377,469	2,775,116
現金及び現金同等物の期末残高	2,775,116	1,981,612

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は主に化学品の販売を行っており、国内におけるマネジメントは国内法人が、海外におけるマネジメントは在外法人が、それぞれ担当しております。

したがって、当社は、経営体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「国内法人」及び「在外法人」の2つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の売上高は、市場価格を勘案した価格交渉の上で決定しております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	国内法人	在外法人	合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	34,799,431	3,667,716	38,467,148	—	38,467,148
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,648,843	1,241,540	2,890,384	△2,890,384	—
計	36,448,275	4,909,256	41,357,532	△2,890,384	38,467,148
セグメント利益	448,539	184,941	633,480	14,557	648,037
セグメント資産	16,012,716	4,022,294	20,035,011	△2,723,660	17,311,351
セグメント負債	9,020,583	2,181,522	11,202,106	△1,852,876	9,349,229
その他の項目					
減価償却費	62,464	124,994	187,459	—	187,459
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	6,524	11,218	17,742	—	17,742

(注) 1 調整額は、以下の通りであります。

(1) セグメント利益の調整額14,557千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額△2,723,660千円は、セグメント間債権の相殺消去等であります。

(3) セグメント負債の調整額△1,852,876千円は、セグメント間債務の相殺消去等であります。

2 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	国内法人	在外法人	合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	32,754,245	4,196,328	36,950,573	—	36,950,573
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,527,690	1,025,628	2,553,319	△2,553,319	—
計	34,281,935	5,221,956	39,503,892	△2,553,319	36,950,573
セグメント利益	500,929	364,537	865,466	△6,523	858,943
セグメント資産	16,777,444	4,214,243	20,991,687	△2,523,286	18,468,401
セグメント負債	9,429,084	2,139,978	11,569,063	△1,610,337	9,958,725
その他の項目					
減価償却費	60,613	121,058	181,672	—	181,672
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,681	140,877	144,558	—	144,558

(注) 1 調整額は、以下の通りであります。

- (1) セグメント利益の調整額△6,523千円は、セグメント間取引消去であります。
  - (2) セグメント資産の調整額△2,523,286千円は、セグメント間債権の相殺消去等であります。
  - (3) セグメント負債の調整額△1,610,337千円は、セグメント間債務の相殺消去等であります。
- 2 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

b. 関連情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	アジア	北米	ヨーロッパ	中東	その他	合計
29,407,926	6,578,206	1,492,591	274,604	534,906	178,912	38,467,148

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	アジア	北米	ヨーロッパ	中東	その他	合計
177,125	1,543,073	2,501	—	—	—	1,722,700

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	アジア	北米	ヨーロッパ	中東	その他	合計
27,913,689	6,951,308	1,176,391	58,585	688,829	161,768	36,950,573

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	アジア	北米	ヨーロッパ	中東	その他	合計
161,920	1,480,406	3,527	—	—	—	1,645,854

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	国内法人	在外法人	全社・消去	合計
減損損失	—	18,092	—	18,092

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
1株当たり純資産額	4,190円16銭	1株当たり純資産額	4,442円75銭
1株当たり当期純利益	218円38銭	1株当たり当期純利益	286円90銭

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
 2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	395,956	520,183
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属 する当期純利益(千円)	395,956	520,183
普通株式の期中平均株式数(株)	1,813,137	1,813,090

(重要な後発事象)

該当事項はありません。